

Digitales Brandenburg

hosted by **Universitätsbibliothek Potsdam**

Kriegstagebuch

Odermann, Albert

1915

Illustrationen

[urn:nbn:de:kobv:517-vlib-7762](https://nbn-resolving.org/urn:nbn:de:kobv:517-vlib-7762)

年に なき大等にて人は 悉く 家内に
引籠もり居れり(公何米電話)

▲学生の雪中行軍

熊本の各學校は昨日雪中行軍を催し

たる所勢からや、縣立中學済々聲は午
前六時集合七時半外龍田村小横橋

を通過し保田瀧より渡瀧に出で出氷

神社方面へ廻り同神社境内に於て十
五分間休憩二十時無事歸營の上運

動場にて更壯なる雪投げ競争遊戯お
り終つて平常通りの營業に移りたり

○縣立熊本中學校にては午前九時よ
り全生徒の雪中行軍を行ひ輕装小略

方面に向ひ正午過ぎ一名の落伍者無
く歸校したり○其他第一師範學校

關小學校にては高等科生徒のみ水通
寺に趣き熊本高等小學校及び市内露

常小學校中にも各所に向つて是れを

認むたる所ありたり

一月十七日ヨリ二週間

東京鍼灸術大家 小野卓次郎先出張

一般患者ノ需ニ應ラレ候

十七日、無料 中嶋旅館
熊本市花畑町(紀念碑前)

▲俘虏の雪合戦

昨日の收容所

込つし暇に收容所の湯邊本願寺柳井高
達分入兵隊を以て雪合戦に就き四十五名
の少く見し一柳井氏に加

胃腸病 宮崎醫院

熊本市洗馬町下一丁目

野尻外科皮膚病科院

熊本市高麗門裏町拾六番

多し猛烈に候の事、柳井氏も有處、其
在相手まじ、遂に日獨の大会戦さか、り十五

名の從つて、鹿出し四五の收容所に入



各軍の退却と知りて此雪合戦は終り之
なとして罪びし未遂に來算敵だを收容所
投初め竹矢來を申して、五に花火

前拂内に收容され居る將校、遂卒連兵
一時夜の寒風飛雪中に飛出して、二手に別れ

雪合戦を初め、遂々として一時間餘無く
戦ひし、昨日正午頃將校連兵食堂に入

かつて出籠りたり